

地域子育て支援拠点研修事業 「大分開催」

〈開催概要〉

- 開催日 平成22年11月7日(日) 10:00~16:30
- 会場 大分県消費生活・男女共同参画プラザ『アイネス』
- 主催 財団法人こども未来財団・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- 後援 厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・大分県・大分市
- 協力 NPO法人アンジュ・ママン
地域子育て支援拠点ネットワーク実行委員会
- 参加者数 120名
(行政30名、NPO/任意団体43名、他団体・企業11人、その他36名)

〈開会挨拶〉 10:00~10:10

◆開催地挨拶

大分県こども子育て支援課長 石塚 哲朗 さん



石塚 哲朗 さん



◆主催者挨拶

財団法人こども未来財団 研修事業部 押本 篤良 さん



押本 篤良 さん

◆ プログラム1 基調報告 10:10 ～ 10:40

「地域子育て支援拠点事業の概要と展望」

講師：厚生労働省 雇用均等・児童家庭局総務課 少子化対策企画室

子ども・子育て支援調整官 牛島 聡 さん



地域子育て支援拠点事業が始まった背景と、事業開始から現在までの流れについての説明をして頂きました。

ひろば型の「機能拡充」については、自己完結ではなく地域や、センターなどとも繋がってほしいと、お話されました。

最後に「拠点事業はこれからも伸ばしていかなければいけない事業だと確信している。これまでの取り組みを充実させて、他の関心を持っている方々の掘り起し、仲間作りをしてほしい。」という言葉で締めくくられました。

30分という短い時間の中で、豊富な資料とともに、解りやすくお話下さいました。

牛島 聡 さん

◆ プログラム2 基調講演 10:45 ～ 12:00

『地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」について』

講師：日本福祉大学 教授

渡辺 顕一郎さん



渡辺先生より、まずガイドラインの構成についての説明がありました。「基本(誰のために何のために)・実践(何をするか)・倫理(何を守るべきか)・運営(どう工夫すればいいか)」というお話を具体例を交えながら、話して下さいました。『現代は子育ての大変さが理解されていなかったり伝わっていない。そんな中で「受容と共感」はすごく大事。そして「一緒に頑張ろうね」と理解してくれる人が身近にいることが必要である』と教えて下さいました。

渡辺 顕一郎さん

◆ プログラム3 分科会 13:00 ~ 15:30

● 第1分科会 「みんなが過ごしやすい居心地のよい拠点づくりのために」

コーディネーター NPO法人子育て談話室 理事長 柴田 恒美 さん

事例報告 NPO法人アンジュ・ママン 施設長 小川 由美 さん

事例報告 柳城児童館 つどいの広場子育て支援アドバイザー 森 郁子さん



柴田 恒美 さん



小川 由美 さん



森 郁子 さん

午後のあたたかな日差しに包まれた第1分科会は、参加者24名。

小川さんの活動報告から始まりました。写真を交えたお話は、とても分かりやすく、スタッフと利用者が一緒に昼食をしている風景や、ママ向けリフレッシュ講座の様子は、アットホームな雰囲気伝わりました。森さんは、当初、課題としていたことが、違う視点から見ると別の部分が見えてきたことなど、体験談を交えながら、ゆっくりと、お母さんのような優しい声でお話してくれました。特に、見守りながら糸口を見つける「待つことの大切さ」という言葉が心に残りました。

休憩後は、まず2人1組になり、好きなことや共通点を話し合い、発表することから始まりました。「ケーキが好き」「血液型が同じ」「2人ともかわいい」など、会場は笑い声でいっぱいになりました。

参加者の気持ちがほぐれたところで、「夏の思い出」をテーマにした、6人4班それぞれ3役をこなす“ロールプレイ”を実践。



「プール遊び」「エアコンをつけるか」などを、利用者・子ども・傍観者の立場になり、感想を話し合いました。柴田さんの、元気でスムーズな進行に自然と話もはずみ、「母親役の時、あらためてスタッフの言葉の重さを感じた」など、全員が1分ずつ感想を発表しました。その中に、「この分科会こそ居心地がよかった」と言葉があり、登壇者や関係者が、うれしさのあまり涙ぐむ場面も…。

最後に、「行き場のある幸せ」「人がいる幸せ」「指導者ではなく、共感者であること」「子どもたちは、10年後わが町の大事な構成員であること」など、これから、みんなが過ごしやすい居心地のよい拠点づくりを目指すために、とても大切な想いを伝えていただきました。

●第2分科会 「さまざまな子育て支援のかたち」

コーディネーター NPO法人びーのびーの 理事長 奥山千鶴子 さん

事例報告 みえまち子育て支援センターやしの実ひろばセンター長

土谷 修 さん

事例報告 NPO法人あっと 代表理事 久保田美代 さん



奥山 千鶴子 さん

第2分科会は、最初にコーディネーターの奥山さんより「自分たちの拠点では、どのような子育て支援をやっていけば良いのかを想像しながら、事例報告を聞いてもらいたい」と説明がありました。

土谷さんからは、“待つ支援”から“届ける支援”をしようと「ホームスタート」の手法による家庭訪問支援のお話を主にしていただきました。子育てに困っている家庭に出向き、支援を始めた経緯と現状について、紹介がありました。

また今後は、事業の周知、ビジティング家庭の掘り出し、地域機関とのネットワーク作りなど、課題が色々ある事についても、お話がありました。



土谷 修さん



久保田 美代さん

久保田さんからは、育児サークル活動から始まり、「子育てしながらできる支援もある」をコンセプトに「NPO法人あっと」を立ち上げた経緯について、説明がありました。さらに、新しいコミュニティのかたちとして、市内7か所のひろば型のネットワークで、情報交換などの会議を行っており、そこから事業を展開し、企画・運営している中での事業のむずかしさと課題を話しあったり、また、行政情報と民間情報を一度に見ることができる「やまぐち子育て公益ポータルサイトあっとほーむ」を開設し、ITを使った情報提供を行っているお話がありました。

その後質疑応答をはさんで、グループワークを行いました。自分たちのひろばやセンターがつながっている資源、今後、自分たちがつながりたい資源について考えました。事例報告などを聞きながら、これまでつながりのなかった団体や気づけなかった資源に気づき、新たなネットワーク構築に向けて、前向きに取り組めるよう配慮が必要と確信しました。



最後に奥山さんより、いろいろな地域の人たちと、連携して、子育て家庭の小さなリスクを大きくならない様に、私達は予防的にかかわる仲間として、連携していきたいと、まとめて下さいました。

●第3分科会 「拠点スタッフの役割・スタッフに求められる力」

講師 日本福祉大学 教授 渡辺顕一郎さん

事例報告 NPO法人子育てネットくすくす 理事長 草薙めぐみさん



渡辺 顕一郎 さん

はじめに、渡辺先生より「スタッフの役割や力についてもう一度かかわりの原則を見直そう！」という問いかけがありました。



草薙 めぐみ さん

草薙さんより、「スタッフとして利用者の方たちへ行う事」をお話していただきました。

- 丁寧なかかわりができているか・・・日々自身が確認しながら行動している
- 一人ひとりが輝ける場をつくる・・・ボランティアの参加
- アウトリーチ・・・積極的に地域に出向く
- 質の向上(スキルアップ)のために・・・毎朝のミーティングなど

そして、スタッフとして大事にしていることも教えていただきました。

それは、どの子育て家庭も支援者に受容されることで、次の一步を踏み出すことができる。そういう支援をしていくという、いわば「家庭支援の視点が大事」というお話でした。

その後、自己紹介を交えたグループワークを行いました。「はじめての人や場の中で、何が不安ですか?」「どんな助けがあれば助かりますか?」「拠点の中で、あなたはどんなふうに助けていますか?」・・・など、すべて今後スタッフとして利用者にかかわる“気づき”になりました。



最後に、渡辺先生より「母親はいつも子どもから目が離せない緊張の中にいます。」だから、ひろばに来た時くらいはゆっくりしたい。いっぱい話したい。ひろばに来てても、人が見ている前では、良い母親を演じて自宅に帰ったら静かになる・・・といった、現代の母親の子育ての苦悩を教えてくださいました。だからこそスタッフは、親に対しての「自己肯定感を高めて、子どもに向き合う余裕を回復する過程に寄り添うことが大切」と教えてくださいました。

◆ プログラム4	全体会(分科会総括・ディスカッション)	15:40	～	16:25
コーディネーター	大分大学教育福祉科学部	教授		山岸 治男 さん
第1分科会	NPO法人子育て談話室	理事長		柴田 恒美 さん
第2分科会	NPO法人びーのびーの	理事長		奥山千鶴子 さん
第3分科会	NPO法人子育てネットくすくす	理事長		草薙めぐみ さん



山岸 治男さん

登壇者の皆様から、各分科会の発表をしていただきました。

さまざまな意見の中、『子育てをする中には、地域とのかかわりが大切』という意見にたどりつきました。

最後に山岸先生から

『子育て支援事業といっても

たくさんあります。それぞれが特徴をいかし、同じ事業に関わる人たちのつながりを持つことが大切です。さらに、地域と交流を深めることは大変重要で、だからこそ私達支援者が、積極的に地域と交流し、新しい団体との交流などを、開拓していかなければなりません。そうする事により子育て支援の輪が広がり、そして共感者が増えていくと思います。』と、優しくお話していただきました。最後には、登壇者にお礼を込めて、会場一同大きな拍手があがりました。

コーディネーターの山岸先生と一緒に、童謡の「たきび」を歌うことから、全体会は始まりました。

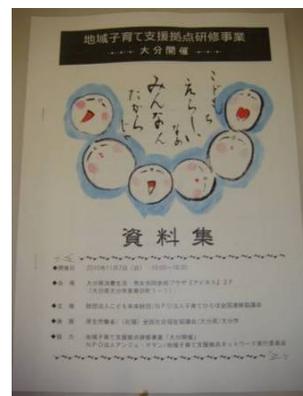
会場は一気にあたたかい雰囲気に包まれました。



柴田恒美さん 奥山千鶴子さん 草薙めぐみさん

〈閉会挨拶〉 16:25～16:30

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
理事 柴田 恒美さん



資料集表紙

分科会登壇者と関係者打ち合わせ



ひろば展示パネルコーナー

第1分科会



第2分科会



第3分科会